資料-2

令和7年6月18日 奄美大島海区漁業調整委員会資料

【議事2】

日本海・九州西広域漁業調整委員会委員の選出について(協議)



日本海・九州西広域漁業調整委員会委員の選出について

- 1 日本海・九州西広域漁業調整委員会の鹿児島県海区互選委員について
 - (1) 現任委員

阿久根 金也 (鹿児島県連合海区漁業調整委員会会長)

(2) 任期

令和7年9月30日まで

※任期は、令和3年10月1日から令和7年9月30日までの4年間

- 2 次期委員の選任について
 - (1) 従来の選出方法
 - ① 水産庁からの選任依頼に基づき、県連合海区から各海区(鹿児島、熊毛及び奄美大島)へ選出を依頼。
 - ② 各海区において協議し、県連合海区漁業調整委員会に選出を一任することを決定。
 - ③ 各海区における協議結果を踏まえ、県連合海区において1人を選出。
 - (2) 次期委員の選任方法について 従来通りの選出方法を踏襲し、連合海区に一任することとしたい。
- 3 これまでの委員

平成 13 年 10 月~平成 16 年 8 月 上村 貞巳 氏 (鹿児島海区会長) 平成 16 年 10 月~平成 17 年 9 月 野村 義也 氏(県連合海区会長)※残任期間 平成 17 年 10 月~平成 21 年 9 月 野村 義也 氏(県連合海区会長) 平成 21 年 10 月~平成 25 年 9 月 野村 義也 氏(県連合海区会長) 平成 25 年 10 月~平成 28 年 8 月 野村 義也 氏(県連合海区会長) 平成 28 年 9月~平成 29 年 9月 甲山 博明 氏(県連合海区会長)※残任期間 平成 29 年 10 月~令和 3 年 9 月 甲山 博明 氏(県連合海区会長) 令和 3年10月~令和6年 1月 甲山 博明 氏(県連合海区会長) 令和 6年 7月~現在 阿久根 金也 氏(県連合海区会長)

1 委員会の概要(機能)

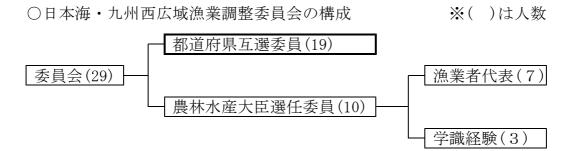
広域漁業調整委員会は、都道府県の区域を超えた広域的な見地から、水産動植物の繁殖保護を図り、漁業権又は入漁権の行使を適切にし、漁場の使用に関する紛争の防止又は解決を図り、その他漁業調整のために必要があると認めるときは、関係者に対し、水産動植物の採捕に関する制限又は禁止、漁業者の数に関する制限、漁場の使用に関する制限その他必要な指示をすることができる。(漁業法第121条)

また,委員会の効率的な運営のため,関係委員により構成される部会が設けられている。

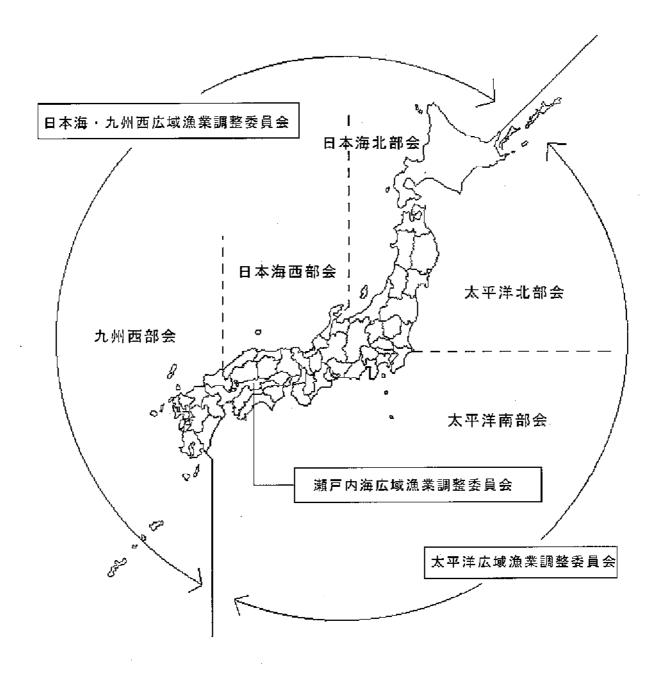
- · 太平洋広域漁業調整委員会(太平洋北部会,太平洋南部会)
- · 瀬戸内海広域漁業調整委員会
- ・ 日本海・九州西広域漁業調整委員会(日本海北部会,日本海西部会,九州西部会)※ 本県は,「日本海・九州西広域漁業調整委員会(九州西部会)」に所属

2 委員の構成

各委員会は、(都道府県互選委員:各県1人)と、国が選任する漁業の代表者(農林水産大臣選任委員、瀬戸内海除く)並びに学識経験者で構成。



広域漁業調整委員会の海域区分



広域漁業調整委員会の区分について

広 域 漁 業 調整委員会	部 会	都道府県	関係海区漁業調整委員会	広域漁業調整委員会 の委員構成
太平洋広域漁業調整委員会	太平洋北部会	北 青岩宮福茨城島城島県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県	渡島、胆振、日高、 釧路・土勝、根室 青森県東部 宮城 福島 茨城 1 0 海区	委員数 28
	太平洋南部会	6千束神静蒙三和徳高愛大宮1県県県都川県県県山県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県県	次	漁業者代表 7 学識経験者 3
瀬戸内海広域漁業調整委員会		手口 取り	和歌山 大阪 兵庫県瀬戸内海 岡広島 県瀬戸内海 徳島川 徳島川 参媛 展覧 東 新 大分 1 1 海区	委員数 14 海区代表 11 学識経験者 3
会 日本海・九州西広域漁業調整委員会	一日本海北部会 日本海西部会 九州西部会	北 秦里県 東里県県県 東里県県県県県県県	- 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	委員数 29 海区代表 19 漁業者代表 7 学識経験者 3